



攝津電機工業株式会社

2025 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2025 年4月1日～ 2026 年3月31日)



目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業内容の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
環境活動の紹介	10



□ごあいさつ

攝津電機工業株式会社は、電機設備分野で人と技術の調和をはかり、「お客様に価値ある製品を提供する」ことにより社会に貢献する会社です。社会の公器たる企業においては、社会的な存続価値がなければなりません。

我社は工場自動化システムによる生産性向上の領域と受変電設備・電気設備工事等の社会インフラ関連の領域にてこれからも社会に貢献してまいります。

また、社員一人一人が仕事を通じて自らの能力と人間性を向上させることにより、企業の持続的な発展が維持出来ると確信しております。

お客様に価値ある製品の提供とプロフェッショナルな社員の育成に全力で取り組むことにより、存在感のある企業としてお客様を初め関係会社様とともに成長し続けられるよう努めてまいります。

[トップ](#)

環境経営方針



<環境経営理念>

当社は、「顧客に価値あるものを提供する」ことにより社会に貢献し、企業として持続的に発展することを目的とする。

当社の事業活動である配電盤・制御盤の設計製作および電気工事事業において、地域ならびに地球環境に与える影響を常に考慮し、積極的に環境経営に取り組み、環境負荷の継続的な削減に取り組むことを、当社の使命とする。

この使命を果たすために、当社は以下の行動指針に従って環境改善活動を行う。

<環境保全への行動指針>

1. 事業活動の全領域において経営目標に適合し、環境に配慮した省資源・省エネルギーを推進する。
2. 環境関連における法律、規制、規程および顧客要求を順守する。
3. 社員一人ひとりが自己啓発し、環境保全行動を実施する。
4. 環境改善目標を定め、環境負荷の低減を継続的に取り組み、活動結果を公表する。

- ① CO2排出量削減
- ② エネルギー使用量低減
- ③ 廃棄物排出量削減
- ④ 水使用量の削減
- ⑤ グリーン購入の推進
- ⑥ 製品・サービスへの環境配慮
- ⑦ コピー紙の削減
- ⑧ 化学物質の適正管理

制定日：2016年4月1日

改定日：2018年7月2日

代表取締役社長 **賀内 一彦**

□組織の概要

更新日：2025年3月31日

[トップ](#)

(1) 名称及び代表者名

攝津電機工業株式会社
代表取締役社長 賀内 一彦

(2) 所在地

本社 大阪府箕面市稲6丁目2番1号
大阪支店 大阪府大阪市西区江戸堀1丁目5番16号
神戸支店 兵庫県神戸市中央区八幡通3丁目2番5号
川西工場 兵庫県川西市石道久保ノ上166番地
阿南事業所 徳島県阿南市那賀川町大京原164-1
徳島工場 徳島県徳島市春日2-5-10

※2025年3月1日に有限会社エースプランナーを吸収合併し、阿南事業所と徳島工場の2事業者を追加

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 営業部長 金子 将人 TEL：072-729-2341
担当者 総務部 関 勇樹 TEL：072-727-7151

(4) 事業内容

配電盤・制御盤の設計・製造管理、電気機器の据え付け工事管理

(5) 事業の規模

売上高 188 千万円

	本社	大阪支店	神戸支店	川西工場	合計	阿南事業所	徳島工場
従業員 名	54 名	5 名	1 名	2 名	62 名	18 名	6 名
延べ床面積 m ²	2165.72 m ²	66.03 m ²	44.21 m ²	445 m ²	2721 m ²	— m ²	— m ²

(6) 事業年度 4 月 1 日 ～ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

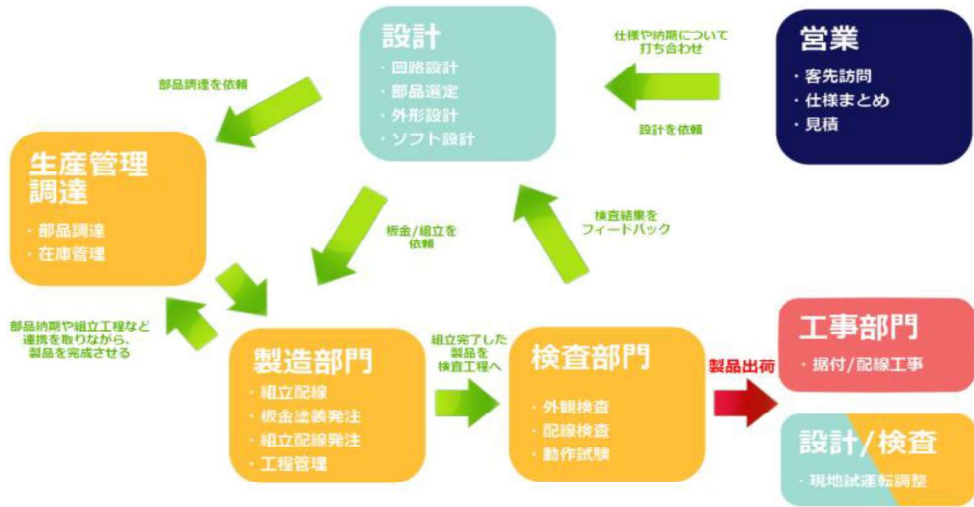
登録組織名： 攝津電機工業株式会社
対象事業所： 本社
大阪支店
神戸支店
川西工場

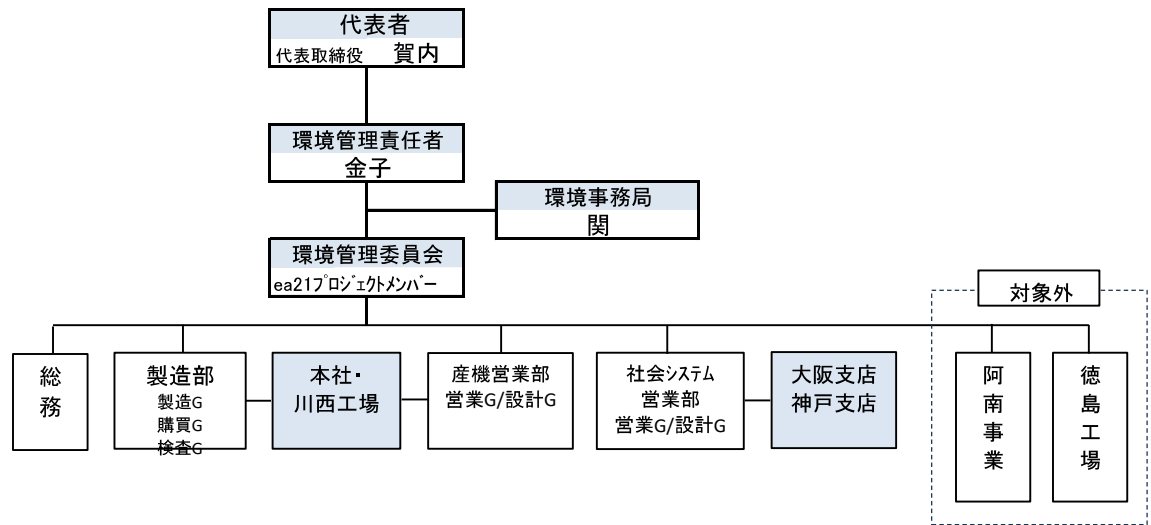
対象外： 阿南事業所、徳島工場（2027年に拡大予定）
活動： 配電盤・制御盤の設計・製造管理、電気機器の据え付け工事管理

[トップ](#)

□事業内容の紹介

電気設備、計装設備、受配電盤・制御盤の設計製作等、あらゆる電気設備に関わるご相談に対応できるよう、優秀なスタッフを置き、業務に励んでおります。
省力化や効率化のサポート役として、先進の技術で工場の生産設備、各種のプラントへ、制御の技術を軸にお客様のニーズに従って、ソフト及びハードの設計から製作まで一貫して行います。
ライフラインに密着した上下水道、道路、河川、ダム設備などのインフラを、信頼される技術で制御盤の設計製造から据え付け電気工事までトータルサポートで、製品、技術を提供させていただきます。





	役割・責任・権限
代表者(社長)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し、指示 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境経営方針の策定・見直し - 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
環境管理委員会	- 環境経営計画の審議 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境活動実績の確認・評価
部門長	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績



項 目	単位	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	123,172	132,093	153,603
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	3,674	2,262	3,218
産業廃棄物排出量	kg	5,670	5,457	5,634
水使用量	m ³	521	401	275

※二酸化炭素排出係数 0.415 kg-CO₂/kWh 2024年度の関西電力調整後排出係数
※2025年度より二酸化炭素排出係数を0.401kg→0.415-CO₂/kWhに変更
※二酸化炭素総排出量には、灯油による排出量を含む

□環境経営目標及びその実績



年 度 項 目		基準値	2025年		評価	2026年	2027年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 原単位（売上高による）	kg-CO ₂	48,060	45,897	71,867	×	45,657	45,417
	基準年度比	2020年	95.5%	149.5%		95.0%	94.5%
	kWh/千円	0.075	0.072	0.092	×	0.071	0.071
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	66,943	64,600	80,479	×	64,266	63,931
	基準年度比	2020年	96.5%	120.2%		96.0%	95.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	115,004	110,498	152,346	×	109,923	109,348
一般廃棄物の削減	kg	3,254	3,140	1,733	○	3,123	3,107
	基準年度比	2020年	96.5%	53.3%		96.0%	95.5%
産業廃棄物の削減	kg	9,100	8,782	5,600	○	8,736	8,691
	基準年度比	2020年	96.5%	61.5%		96.0%	95.5%
水使用量の削減	m ³	482	468	275	○	465	463
	基準年度比	2020年	97.0%	57.1%		96.5%	96.0%
グリーン購入の推進	行動目標（次ページ以降による）						
化学物質の適正管理	行動目標（次ページ以降による）						
コピー用紙の削減	枚	452,500	425,350	319,000	○	423,088	420,825
	基準年度比	2020年	94.0%	70.5%		93.5%	93.0%
製品・サービスへの環境配慮	件	107	128	133	○	134	139
	基準年度比	2020年	120.0%	124.3%		125.0%	130.0%

※産業廃棄物は埋立処分量のみを対象としています

[トップ](#)

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

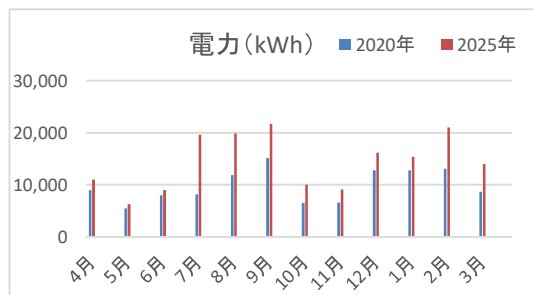
数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

[トップ](#)



電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	基準年から敷地面積が広がっており、空調機の台数が増えている事から
・空調温度の適正化（WBGT値から調整）	○	使用料があがった。
・不要照明の消灯	○	遮熱シートや遮熱塗装の検討する。

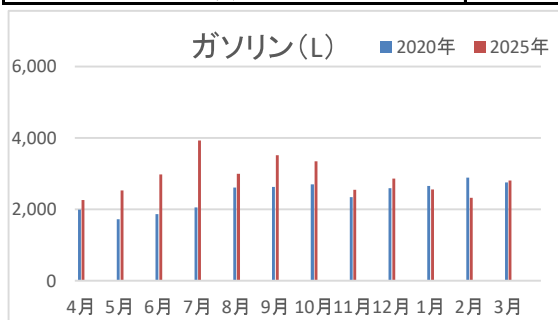


建替にともない電気制御システムを導入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	8,963	5,431	7,955	8,160	11,877	15,130	6,497	6,547	12,800	12,800	13,106	8,666
2025年	11,018	6,233	8,997	19,623	19,873	21,728	10,018	9,096	16,173	15,376	21,003	14,036



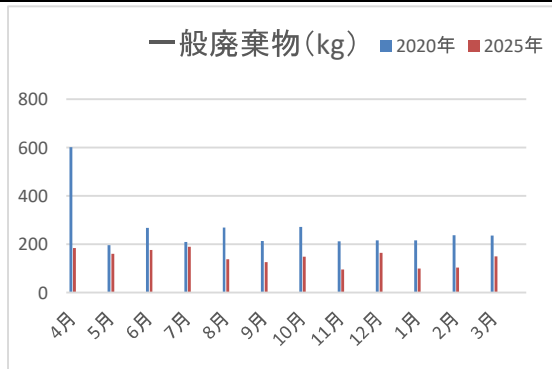
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	大型物件対応などで社用車の稼働率が上がった。
・アイドリングストップ	○	3月にエコドライブ運転の指導を行った。
・効率的なルートでの運搬	○	
・エコドライブの教育計画	○	
・車両更新時に低燃費車を選択	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	1,992	1,723	1,867	2,054	2,615	2,632	2,704	2,347	2,597	2,656	2,891	2,757
2025年	2,259	2,527	2,981	3,933	2,996	3,516	3,347	2,547	2,866	2,559	2,325	2,808



一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	基幹システムの変更が完了しDXが進んだ事で印刷物が減少した。 サーバのデータ容量を監視する必要がある。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	△	
・検図方法見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	

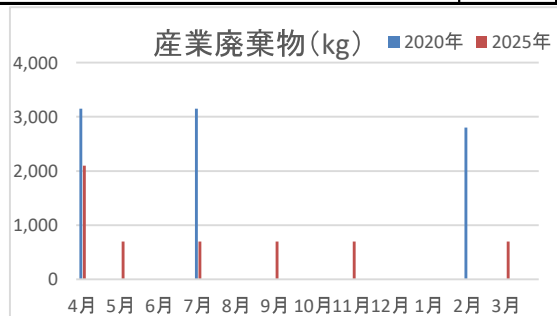


仕分けを徹底し、計量時には個数まで記録

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	602	196	267	209	269	213	271	212	216	216	237	235
2025年	184	160	176	190	137	126	149	95	164	99	104	149



産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	手間の掛かるゴミを自分たちで分解して有価物として処理した。
・分別の徹底	○	
・梱包材の再利用（木材）	○	
・現場事務所備品のレンタル品検討	○	

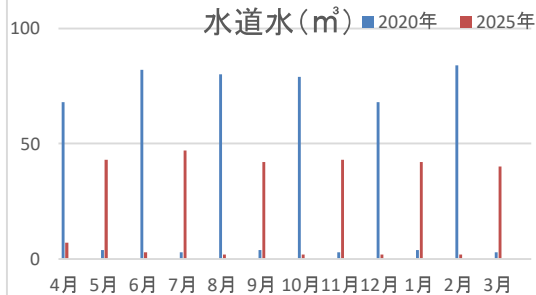


産業廃棄物と有価物の仕分け

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	3,150	0	0	3,150	0	0	0	0	0	0	2,800	0
2025年	2,100	700	0	700	0	700	0	700	0	0	0	700



水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	節水呼びかけの効果もあり、目標達成。 節水型トイレに変更した効果が出た。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・定期的な上下水道使用量の確認	○	



節水よびかけポスター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	68	4	82	3	80	4	79	3	68	4	84	3
2025年	7	43	3	47	2	42	2	43	2	42	2	40



グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	—	継続してグリーン購入の活動を続けている。 文房具はグリーン購入が進んでいる。
・エコタイヤ（交換用）の確認	○	
・工事材料（エコケーブル）の使用推進	○	
・事務用品グリーン製品導入	○	



化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	—	該当製品の管理表を確認した。 持ち出し数量、管理場所に問題はありませんでした。
・リスクアセスメントの実施	○	
・有害性物質の表示の徹底	○	
・従業員教育	○	



コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・プリンター用紙の購入数を把握する	○	DX検討委員会での取り組みで、前期から引き続きコピー用紙の削減ができています。 基幹システムの変更が完了し印刷物が減少した。



製品・サービスへの環境配慮	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・省エネ機器の採用	○	RoHS対応製品、エコ電線の使用を提案し、トータルでは目標をクリア出来た。
・再生資源の利用	○	
・省資源設計の提案（既成BOXの利用等）	○	
・省エネ設計の提案（Ex. INV等）	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

[トップ](#)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス等）、一般廃棄物
騒音規制法（大阪府条例）	業務用空調機
フロン排出抑制法	業務用空調機

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

本年度において苦情等の実績はありませんでした。

□事故等緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災発生とAED使用訓練	
■実施日： 2026/2/26	■実施場所： 箕面本社
■対象者： 箕面本社勤務従業員	
■実施内容： ☒ 消火講習 ☒ AED使用訓練 箕面市消防本部より講師を招き、上記実施内容の講習、訓練を実施	
■評価： 良 毎年訓練を行っている事もあり出火から避難完了まで3分とスムーズに避難できていた。 避難訓練だけでなくAEDの使い方や消火器の使い方も実践的に行えた。 質疑応答も積極的に質問が出ていた。	
■実施状況の様子	



□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2026年5月1日

2025年度は、作業環境改善に向けた空調設備の拡充により電力量が急増した。電力量の増加は継続するため基準の見直しが必要である。ガソリン消費量の増加は、亀岡高速道路事務所管内の業務が多忙を極め、対応人員の増加によるものである。DXの社内活用により紙の使用量は大きく削減できた。緊急事態の対応について毎年消防署の協力で訓練が行っている。これらの課題と効果を検証し次年度の計画作成を実施してください。

2026年度は、廃棄物の分別と電力使用量削減に向けて、空調温度の適正化及び不要な照明や換気扇の定期的管理を行い省エネの啓蒙活動を実施してください。

阿南事業所及び徳島工場の現状把握とエコアクションへの取り組み指導を行い、全社的な活動を実施してください。全社的視点での環境経営を実践することにより、地域社会に貢献できる企業を目指します。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□環境活動の紹介



SDGsの取組	
■設置日： 2024/11/15	■設置場所： 箕面本社
■推進者： エコアクション21推進委員会メンバー 7名	
■実施内容： コンタクトレンズの空ケース回収、ペットボトルキャップの回収 コンタクトレンズを使用する際に出る空ケースを回収し、またペットボトルドリンクを利用した際に出るキャップを回収しリサイクルに繋がります。	
■評価： 良 コンタクトレンズの空ケース回収に関して、回収が捗ったこともありアイシティ様へお渡し致しました。代わりにノベルティグッズを就労支援施設からいただきました。ペットボトルキャップもトヨタレンタリース大阪様に回収いただき、ホームページに載せていただきました。 https://company.trlosaka.co.jp/bottle_cap	
■実施状況の様子	
コンタクト空ケース回収  	ペットボトルキャップ回収  

□攝津電機工業株式会社は、SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向け、EA21の活動を通じ社会の課題解決に取り組んでいます。

SDGsとは

SDGs(エスディー・ジー・ズ:Sustainable Development Goals持続可能な開発目標)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

